

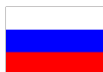
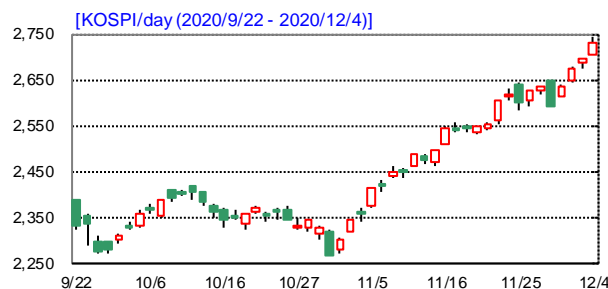


【韓国】 総合指数は3.7%高と5週続伸、連日の最高値更新で2700ポイント台乗せ

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で3.7%高と5週続伸。週明け11月30日は過熱感で3営業日ぶりに反落したものの、その後は買い優勢の展開となり、連日で史上最高値を更新した。韓国の11月PMIが52.9と、2011年2月以来の高水準となったほか、CPIも強い内容だったことを受け、国内経済が回復に向かうとの見方が強まった。新型コロナワクチンの実用化期待や、米ハイテク株高もリスクオンの動きを後押し。サムスン電子やSKハイニックスなどの主力半導体株が上場来高値を更新し、相場の上昇をけん引した。4日終値が初めて節目の2700ポイント台に乗せた。今週は高値警戒感から利益確定売りが出やすいか。半面、コロナワクチンの実用化や主要国での経済対策と低金利政策の継続に対する根強い期待が引き続き相場を支えそうだ。

▼指数チャート

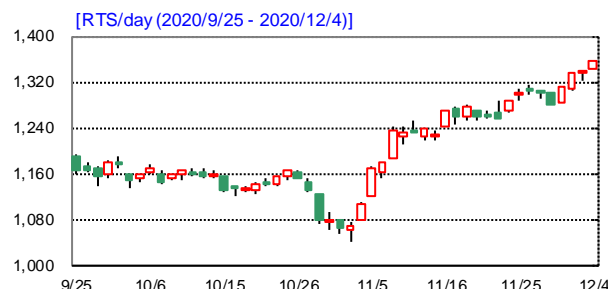


【ロシア】 RTS 指数は4.2%高と5週続伸、今週もワクチンや原油相場が焦点か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で4.2%高と大幅に5週続伸。欧米株高や原油高、ルーブル高を追い風に指数は9カ月ぶりの高値を更新した。週明け30日は原油安や月末の利益確定売りで下落したが、その後はコロナワクチン開発の進展を好感した欧米株高やブレント原油価格の上昇が追い風となったほか、ドル安の流れが続いたこともドル建てで取引されるRTS指数の押し上げ要因となった。指数は30日に前営業日比で1.6%下落したが、1日から4日続伸し、4日には終値で3月以来の水準を回復。年初来下落率は12.4%に縮小した。個別では、ズベルバンク・オブ・ロシアが週間で7.3%高、ノリリスク・ニッケルが6.8%高となり、指数を押し上げた。今週は引き続き新型コロナワクチンの開発状況や原油相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は週間で1.1%高と5週続伸、今週も堅調な展開が続くか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.1%高と5週続伸。経済成長見通しを背景に海外からの資金流入が続いた。週明け30日は月末の利益確定売りに押され、指数が0.7%安と10営業日ぶりに反落したが、その後は4日続伸した。1日は朝方に大きく下落し、指数は一時988.71ポイントと3日ぶりに1000ポイントを割り込んだが、海外投資家の買いが強まったことで前日比0.6%高の1008.87ポイントと反発。その後も良好な経済見通しを背景に海外からの資金流入が続き、指数は4日に一時1025.17ポイントと1年1カ月ぶりの水準を回復した。個別では飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が5.5%高、ゴム製品のベトナム・ラバーが5.2%高、金融の軍隊商業銀行が4.8%、テクコムバンクが4.6%高とけん引した。今週も堅調な展開か。

▼指数チャート



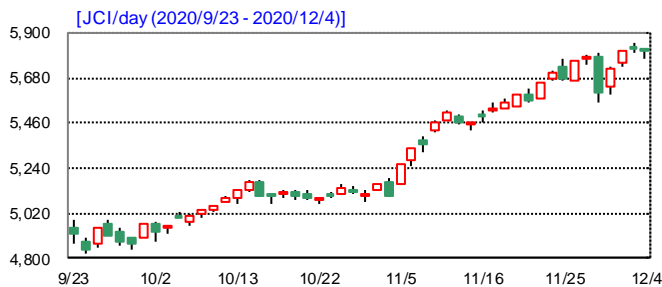


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.5%高、今週は 9 日に統一地方選挙の投開票実施

ジャカルタ総合指数は週間で0.5%高と9週続伸。11月月間では9.4%高。先週は週初の下落が痛手だったが、その後はおおむね堅調に推移した。週初の30日は前日の新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最多を更新したことが嫌気され、指数は前営業日比3.0%安と3日ぶりに反落。一方、1日は11月のCPI上昇率が前年同月比1.6%と6月以来の高い伸びとなった効果で、前日比2.0%高と反発した。2日はさらに1.6%高と終値ベースで5800ポイントに乗せると、週後半もこの水準を挟んでもみ合った。今週は9日に10月の小売売上が発表される予定。同日は統一地方選挙の投開票日のため休場となる。

▼指数チャート

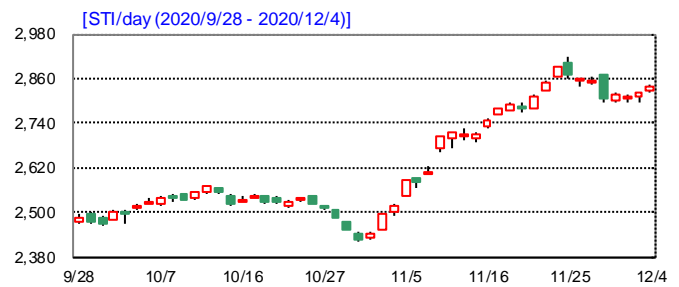


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.6%安、10月の銀行融資残高は 8 カ月連続で減少

ストレーツタイムズ指数は週間で0.6%安と5週ぶりに反落。11月月間では15.8%高。先週は週後半の上昇が下落幅を縮めた。週初の30日は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に加え、10月の銀行融資残高が8カ月連続で前月を下回った影響で、指数は前営業日比1.7%安と4日続落。一方、1日に中国の11月の財新製造業PMIが市場予想から上振れした効果などで反発すると、その後も3日まで一進一退の値動きが続いた。4日は10月の小売売上が前年同月比8.6%減と市場予想を下回ったものの影響は軽微で、続伸して引けている。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因に左右される展開か。

▼指数チャート

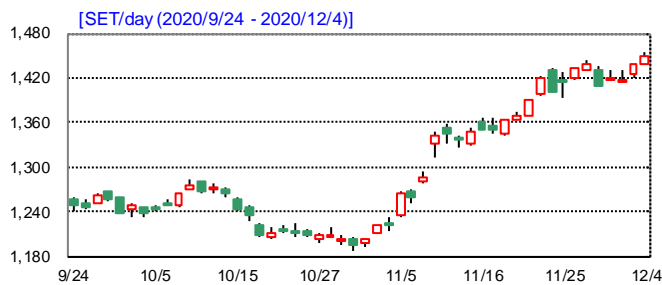


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.8%高、14 億 4000 万米ドル規模の追加景気対策を好感

SET 指数は週間で0.8%高と5週続伸。11月月間では17.9%高。先週は週後半の上昇が奏功した。週初の30日は、反政府活動が長引く中、前日もバンコクでデモ行進が行われたことが売り材料視され、指数は前営業日比2.0%安と4日ぶりに反落。2日まで不安定な値動きが続いたが、3日は前日に財務省が14億4000万米ドル規模の追加経済対策を発表した効果で前日から1.4%上昇すると、4日も続伸して取引を終えている。今週は国内の経済指標発表が少なく、中国の11月の貿易統計などの外部要因が指数を左右しそうだ。7日はラーマ9世誕生日の振替休日、10日は憲法記念日、11日は特別休日のため休場。

▼指数チャート

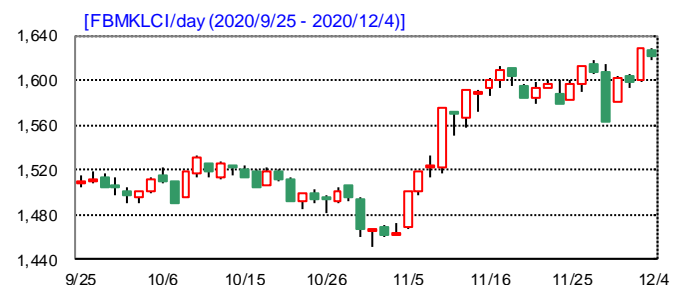


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.9%高、今週は 10 月の鉱工業生産に期待

クアラルンプール総合指数は週間で0.9%高と5週続伸。11月月間では6.5%高。先週は一進一退を繰り返しながら、徐々に上値を広げた。30日は引け際に売りが集中し、前営業日比2.8%安と続落した一方、1日は中国株の急上昇と新型コロナウイルスのワクチン開発の進展を好感して、前日比2.5%高と反発。2日は小幅に反落したが、3日は米ファイザーが開発したワクチンが英国で承認されたことに加え、マレーシア国内の新規感染者数が減少した効果で、指数は前日比1.8%高と反発した。ただ、4日はゴム手袋メーカー株が下げを主導し、反落している。今週は11日に10月の鉱工業生産が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。